

特許証  
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第5013292号  
(PATENT NUMBER)

発明の名称  
(TITLE OF THE INVENTION)

タービンプレードの固定装置

特許権者  
(PATENTEE)

東京都港区三田二丁目二番十八号

平和産業株式会社

発明者  
(INVENTOR)

ジェイムス イトウ  
黒沢 大樹

出願番号  
(APPLICATION NUMBER)

特願2008-040671

出願日  
(FILING DATE)

平成20年 1月24日(January 24, 2008)

登録日  
(REGISTRATION DATE)

平成24年 6月15日(June 15, 2012)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。  
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成24年 6月15日(June 15, 2012)

特許庁長官  
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

岩井良行

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-174512  
(P2009-174512A)

(43) 公開日 平成21年8月6日(2009.8.6)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード(参考)
FO1D 25/00 (2006.01)	FO1D 25/00 X	3C016
B23Q 3/08 (2006.01)	B23Q 3/08 Z	

審査請求 未請求 請求項の数 7 書面 (全 18 頁)

(21) 出願番号 特願2008-40671 (P2008-40671)  
(22) 出願日 平成20年1月24日(2008.1.24)

(71) 出願人 597010824  
平和産業株式会社  
東京都港区三田二丁目二番十八号  
(72) 発明者 ジェイムス イトウ  
千葉県舟橋市海神町1-1544-10  
平和産業株式会社舟橋工場内  
(72) 発明者 黒沢 大樹  
長野県駒ヶ根市赤穂330-13 平和産  
業株式会社駒ヶ根工場内  
Fターム(参考) 3C016 DA15

(54) 【発明の名称】タービンプレードの固定装置とタービンプレードの加工方法

(57) 【要約】

【課題】 新技術(凝固液体)により中間部を高精度・低ストレスに保持することで端部加工が超精密に加工でき且つ加工コスト低減と中間部の変質を無くしたタービンプレードの固定装置を提供する。

【解決手段】 底部1Cにブレード端部の突端面1Dを設けた有底固定筒1と、上記有底固定筒の外壁1Aに固着されて筒内空間Sに突出させた複数本の位置決めピン2~5と、更に、上記有底固定筒の外壁内空間で支持されたヒンジブロック7と、上記有底固定筒内に液体W0を凝固させる凝固部10とからなり、上記有底固定筒の空間内に挿入されたブレード部品の中間羽根部B1を上記位置決めピンとヒンジブロックと凝固液体W1とで保持する。

【選択図】 図1

